

曹洞宗 (そうとうしゅう)

鏡徳寺報 第8号 (R1. 6. 30発行)

住 所 茨城県日立市弁天町3-3-33

電 話 (0294) 21-2049

FAX (0294) 21-2092



青々とした芝生が気持ちの良い境内になりました

大施食会 (せじきえ) お申し込み受付開始

今年も例年通り、八月九日に大施食会が厳修されます。鏡徳寺ではこの法要にあわせ、事前にお申し込みされた方には特別にお塔婆を立てご供養いたします。

檀信徒の皆さまには、第8号寺報 (今号) と共に申込用紙をお届けしています。あらかじめご記入の上、お申し込みください。

遠方の方は現金書留でも受け付けています。

お申し込み期間は **七月一日から七月末** まで。

なお、法要当日の混雑緩和のため、八月九日の午前中は法要に参加する方のみのご参拝をお願いしています。法要参加者にはお申し込みの際、希望の方に先着で駐車許可証をお渡しいたします。

法要に参加せず、お塔婆の受取のみをご希望される方は、九日の午後〜十五日までのお参りにご協力ください。

観音堂修復および境内整備

老朽化により雨漏りする為、観音堂を修繕しています。それに伴い、現在、観音さまは本堂内に御遷座しています。

また、境内を整備し駐車場を新しく観音堂前にも造成しました。法事やお墓参りの際には、石垣下の駐車場の他、こちらもご利用いただけます。今後は、本堂前の参道の敷石への駐車はご遠慮ください。



台座納経



曹洞宗ご本尊釈迦牟尼佛のご尊像を鏡徳寺にお迎えするにあたり、ご寄進の方々のお名前をお経と共に台座に納めます。

一般志納は一口三万円、特別志納は一口十万円の予定です。詳細は後日お伝えします。

第一回インド仏跡巡礼の旅 ご報告



大菩提寺にて

去る三月六日から八日間の日程で、鏡徳寺主催インド仏跡巡礼の旅を催行しました。お釈迦さまが苦行をされた前正覚山や、お悟りを開かれたブダガヤ参拝の他、世界遺産のタージマハルやアグラ城の見学等、楽しくも有難い旅となりました。無事、円成しましたのでご報告いたします。

鏡徳寺イベント案内

☆月例坐禅会

毎月第二日曜日、午後二時より坐禅会を開催しています。お申し込みは不要。檀信徒以外の方も可。皆さまお誘いあわせの上、お気軽にご参加ください。

☆秋の落語会

年に一度の落語会ですが、ご好評につき今年も開催します。本年も万邦和楽(ばんぱうわらく)、仏さまの願いどおり楽しいひと時を過ごしましょう。

開催日は十月二十日(日)、午後二時より。入場料は無料。観覧希望の方はお電話でお申し込みください。受付は九月一日から(定員になり次第締め切り)

☆釈尊五大聖地を廻る旅

来年一月二十一日から三十日までの日程で第二回インド仏跡巡礼の旅を催行予定です。

今回は、お釈迦さま降誕の地ネパールのルンビニや入滅の地であるインドのクシナガラ、平家物語で有名な祇園精舎の地をめぐる予定です。

鏡徳寺一問一答 おしえてお寺さん!

Q. 開眼(かいげん) 供養とは何ですか?

A. 仏心を込める儀式です

新しく仏像をお迎える時、お位牌を作る時、卒塔婆やお墓を建立する時に、菩提寺の和尚さんに頼んで開眼供養をします。仏心とはお性根ともいい、一般には性根を入れるといったりもしますが、もともと性根とは正しい心、本質的なものを指します。ここでいう正しい心とは、お位牌であれば故人への供養の心、ご先祖さまへの崇敬と感謝の心、仏像なら仏教に対する信仰の心といったところです。

目に見えない大切な真心は、残念ながら行方不明になりがちです。開眼とはそうした目に見えない心を、形にして見つけやすいように標をつける儀式といえます。敬虔な気持ちで臨みましょう。



永代供養墓 受付中

観音様に見守られた個別埋葬式の永代供養墓です。対象は鏡徳寺檀信徒のみ。一柱三十万円程度。予約可。詳しくはお寺までお問い合わせください。

斎会場のご案内

法事の後の会食に、お寺の拈華堂(ねんげどう) 会館を無料で使うことができます。

ご希望の方は法事申し込みの際、ご相談ください。

お詫びと訂正

前号、寄付の欄で記載したお名前が間違っていました。正しくは吾妻明子様です。

訂正してお詫び申し上げます。